

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年1月18日 No. 47 文責：佐野紳二

## スキー教室に行ってきました

1月12日(木)、5年生と6年生が北杜市のサンメドウズ清里スキー場にスキー教室に行ってきました。前日くらいから気温が高くなり、この日もスキーウェアを着て体を動かすと少し汗ばむくらいだったようですが、スキー場のコンディションにはほとんど影響はなく、快晴無風の絶好のコンディションの中でレッスンを受けることができましたようです。

最近、スキーをたしなむ人はだいぶ減ってきているようですが、日常生活の中ではほとんど体験することができない運動に触れる機会も大切なのかな、と思っています。

曲がるときに谷川の足に荷重するというのが他の運動では経験することができないスキー独特の感覚ですね。でも、こうしたいろいろな体の使い方を体験することが、ほかのスポーツや日常の体の使い方の中にも結構活きてきたりすることがあります。子どもたちにも学童期のうちに経験しておいてほしい感覚です。

子どもたちにも今回のスキー教室をきっかけに少しでもウィンタースポーツに親しんでもらえるといいな、と思います。



## 学校開放日

17日(火)に行った学校開放日には、たくさんの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。他の多くの行事と同様に、今回の学校開放も3年ぶりの実施になりましたが、いかがだったでしょうか？なかなか子どもたちの学校生活の様子を見ていただけない状況が続く中、今回こうした機会を設けることができ、とてもよかったですと思っています。

また、今回は各学級のあやめっ子タイムの様子も見ていただくことができました。楡形地区小中一貫教育の要となっているあやめっ子タイム。なかなか保護者の皆様に見ていただく機会が持てずにいましたが、こちらも多くのお父さん・お母さんに見ていただくことができました。





## 日本のお正月 その2

前号 (No. 46) に続いて、日本の年始の行事について調べてみました。今日は1月の第2月曜日に国民の祝日となっている「成人の日 (成人式)」についてです。

昨年まで、南アルプス市では成人の日の前日 (日曜日) に成人式を実施していました。令和4年4月から民法の改正に伴い、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本市では今後も20歳を対象に記念式典を開催することとなり、令和5年から式典の名称が「成人式」から「二十歳のつどい」となったそうです。来年20歳になる我が家の娘も、先日、母親と二人で貸衣装屋さんに行き、二十歳のつどいで着る着物を選んできたようです。

## 成人式が20歳で行われるようになったのはいつから？

20歳を迎える年を祝う成人式は、終戦の翌年、1946年1月22日から3日間行われた「青年祭」が起源と言われています。当時、戦争に敗れて明日への希望が見出せずにいた若者を勇気づけようと、埼玉県蕨 (わらび) 市の蕨第一国民学校 (現在の蕨市立北小学校) を会場に、蕨町青年団が中心となり催したのが青年祭です。現在の成人式 (二十歳のつどい) のように、町長や来賓者から激励を受け、式典後には芸能大会や物々交換などの催し物が行われたり、当時の若者に人気があったおしるこがふるまわれたりと、おおいに盛り上がったそうです。



成人の日が国民の祝日になったのは1948年で、当時は1月15日が成人の日でした。現在のように1月の第2月曜日が成人の日になったのは、いわゆる「ハッピーマンデー制度」が導入された2000年です。

現在、ハッピーマンデー制度の対象になっているのは、成人の日の他に海の日 (7月第3月曜日)、敬老の日 (9月第3月曜日)、スポーツの日 (10月第2月曜日) の3つで、成人の日とスポーツの日は2000年から、海の日と敬老の日は2003年からハッピーマンデーの対象になっています。

## 成人式の起源は？

成人を祝う儀式は古くからあり、起源は紀元前200年前 (!) から行われていた中国の「冠礼 (かんれい)」という儀式だといわれています。男子は冠をつける儀式、女子は髪をかきあげるのに用いる細長い具、笄 (こうがい) という髪飾りをつける儀式を経て、社会から成人として認められるとされていました。

日本での成人式の起源は奈良時代から行われていた元服 (げんぷく) と呼ばれる儀式で、その時期や方法は男子と女子は大きく異なりました。男子は11歳から16歳の間に行われ、髪を結び、服を改め、身分によって冠や烏帽子 (えぼし) を着用して成人になったことを示しました。女子の元服の始まりは江戸時代で、髪を丸髷 (まるまげ) に結び、お歯黒をつけてもらい、引眉 (ひきまゆ) を行ったそうです。 参考: いぬづか写真室ブログ 他



小学生のみなさんが成人年齢になるのはまだちょっと先の話ですが (でも、あっという間ですよ)、それまでの間にたくさんもの・ことをよく見て、よく聞いて、経験をし、学び、自分の中身をしっかりと充実させていってほしいと思います。何年か後に、スーツや紋付き袴、振り袖姿のみなさんにどこかで出会えたらとても嬉しいです。